**香川県高校総体実施時にあたっての安全対策ガイドライン（登山）**

香川県高体連登山専門部

**（１）大会申込時の申合せ事項**

①生徒・顧問・役員等が次の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること

ア　体調がよくない場合 （例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ　同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ　過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合

エ　過去14日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合

オ　過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）。

③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

④他の参加者や役員等との距離（できるだけ２ｍ以上、競技の特殊性や施設などの事情で困な場合も少なくとも1～２ｍ）を確保すること

⑤大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと

⑥感染防止のために決めた措置を遵守し、指示に従うこと

⑦観客数についてはその時の状況に応じて適切に判断すること

**（２）大会会場で準備すべき事項**

①手洗い場所

ア　手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること

イ　「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること

ウ　参加者には、手洗い後に手を拭くためのタオルを各自用意させること

エ　手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

②更衣室、休憩・待機スペース

ア　広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること

イ　ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること

ウ　室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること

エ　換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること

③洗面所

ア　トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること

イ　トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること

ウ　手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること

エ　「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること

オ　手洗い後に手を拭くためのマイタオルを各自用意させること

④飲食

ア　飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること

イ　飲食場所は広さにはゆとりを持たせ、他の者と密になることを避けること

ウ　大会中の飲食は必要最低限にとどめ、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること

エ　生徒の飲食は、参加校の責任において喫食させ、ゴミはすべて持ち帰らせること

オ　飲料のペットボトル等の共用は厳に慎むこと

⑤会場

ア　大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと

イ　換気設備を適切に運転すること

ウ　定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

エ　観客数についてはその時の状況に応じて適切に判断すること

オ　怪我人の処置室とは別に体調不良者用の待機場所を設置すること

⑥ゴミの廃棄

ア　鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用すること

イ　マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること、ゴミはすべて持ち帰らせること

**（３）大会当日の受付時の留意事項**

①受付窓口には、手指消毒剤を設置すること

②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように　呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）

③人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン、フェイスシールドなどで遮蔽すること

④受付を行うスタッフには、マスクを着用させること

**（４）大会参加者への対応**

①体調の確認

顧問から生徒と顧問等について次の事項を記載した書面の提出を求めること

ア　生徒と顧問等については、学校長の指示のもと、大会参加2週間前から各学校で健康チェック等に活用している「健康観察票」等と生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書で健康状況を把握し、大会当日に受付け等で非接触型体温計等を活用し健康状況を報告すること

また、大会当日の時程、出席生徒の行動記録や住所、連絡先（電話番号）については、各校で把握し、感染が判明した時点で速やかに連絡できる体制を整えておくこと

イ　大会当日の非接触型体温計等を活用した体温確認（受付時の３密を回避するため自宅での検温も可とする）

ウ 大会前２週間における次の事項の有無（次の症状が数日間継続した時は、医療機関を受診すること。）

・平熱を超える発熱（おおむね37.5度以上）

・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状

・だるさ・疲れやすい（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）

・嗅覚や味覚の異常

エ　同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

オ　過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合

カ　過去14日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合

キ　過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスク等の準備

ア　参加者がマスクを準備しているか確認すること

イ　参加の受付、着替え、ミーティング、開会式、閉会式、表彰式等の運動を行っていない間については、マスクの着用を求めること

③大会参加前後の留意事項

 　 ア　大会の前後のミーティング等においても、３つの密を避けること

イ　会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

**（５）競技上の留意点**

①十分な距離の確保

ア　運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること

イ　登りがきつい場所では、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること

ウ　登山行動時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること （感染予防の観点から、できるだけ２ｍ以上、少なくとも1～２ｍの距離を空けることが適当である）

②運動中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと

③タオルやペットボトル等の共用はしないこと

④飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと

**（６）生徒が遵守すべき事項**

①次の事項に該当する場合は、顧問が責任をもって参加を見合わせること（利用当日に書面で確認を行う）

ア　試合当日の体調がよくない場合 （例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ　同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ　過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合

エ　過去14日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合

オ　過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスクを持参すること

（参加受付時、着替え時、ミーティング、開会式、閉会式、表彰式等のスポーツを行っていない際や会話をする際には マスクを着用すること）

③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

④他の参加者、主催者スタッフ等との距離はマスクをしていても（できるだけ２ｍ以上、少なくとも1～２ｍ）を確保すること

⑤大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと

⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

⑦大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

⑧大会の前後のミーティングにおいても、３つの密を避けること

**（８）大会参加者の感染が判明した場合の対応**

　①大会前

ア　当該部員、顧問、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない

イ　団体競技においては、参加申込後の生徒変更を認める

ウ　個人競技においては、欠場とする

　②大会期間中

ア　大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合は、当該生徒を医療機関に連れて行きその指示に従う

イ　安全に帰宅できるまでの間、会場にとどまるケースを想定し、他の者と接触を避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮を行う

③大会後

　　ア　感染者の所属する学校や行政機関の指示に従うこと

**（９）大会中の留意事項**

①飲食時の感染予防対策

ア　食材は調理の必要がないもの、または湯せん・湯を加えることで食事可能なものを個別に準備する

レトルト食品やフリーズドライ製品が中心のメニューとなっても良い

イ　食事以外の時間は常にマスクを着用し、食事前には手指消毒を行い、食事の際は、対面にならないように全員が一方向を向き、一定の間隔をあけて食べるようにする。また、食事中は一切の会話を禁止する

　②就寝時の感染予防対策

　　ア　「密」を避けるためにテントではなく施設（体育館等）を就寝場所とする

イ　就寝前に手洗いとアルコール消毒を実施し、就寝中は常時マスクを着用する

　　ウ　就寝場所では一方向に対し頭と足が交互になるように並び、１ｍ以上の間隔をあける

③バス輸送時の感染予防対策

ア　乗車前にアルコール消毒を実施する

イ　バス内では常時マスクを着用し、会話はできるだけ控える。

④登山行動中の感染予防対策

ア　登山行動中はマスクを外してもよいが、チーム内で会話する場合はマスクを着用する。

イ　チーム内のメンバーの間隔が３ｍ以上開くことは減点対象となるが、密接して歩行することは避ける

　ウ　個人装備として、マスク（予備を含む）と携帯消毒用アルコールを必ず持参する。

**（１０）その他**

　①会場への移動等は各学校で責任をもって集団感染のリスク（3密の条件）を避けること

　②今後、社会情勢が大きく変化し、通常の社会生活に戻るなどした場合の対応は、上記の限りではない